

第18回秋田市地域公共交通協議会 議事要旨

開催の日時 平成27年11月10日(火) 午後3時から午後4時35分まで

開催の場所 秋田市役所2階「正庁」

委員の定数 23名

出席委員 22名(うち代理出席6名)

会議内容

- ・議事
 - (1) 第2次秋田市公共交通政策ビジョンについて
 - ・現計画の進捗状況の整理
 - ・計画策定に向けた課題と方針のとりまとめ
 - ・計画の基本方針・目標の策定
 - (2) 秋田市マイタウン・バス西部線(下浜線)の延伸について
- ・報告
 - ・秋田市マイタウン・バス西部線(豊岩線)の路線変更について

会長	1 開会
	2 会長あいさつ
事務局	3 議事 議事1「第2次秋田市公共交通政策ビジョンについて【資料1】」を、事務局から説明願う。
会長	(資料に沿って説明)
委員	質問等はないか。
事務局	資料の前半は現計画のレビューであるが、最終的に現計画と新しい計画とが対比できるページはないのか。
委員	現計画の評価を今回の協議会までにまとめる予定だったが時間がかかっている。現計画の進捗を踏まえた対比については次回協議会で説明させていただきたい。
委員	方針として現計画で十分できていないところを今後進めて行くのか、

または新たに取組むのかを明らかにして整理してはどうか。

事務局 現計画にて、出来た、出来なかったを考慮して、新計画を作成したい。

委員 資料1の19ページ「秋田市民の意識」について、「バス電車などの利用しやすさ」の地区別評価のうち河辺・雄和地区で評価が低いのは、具体的にどのような理由なのか。

事務局 「秋田市しあわせづくり市民意識調査」の中で項目を立てて聞いているため、具体的にどういう理由かまでは捉えられていない。おそらくバスの定時性の問題や乗り継ぎが強いられるなどの理由が考えられるが、今後具体的な調査を実施していきたい。

委員 設問が鉄道とバスを含めた公共交通についてということで、回答もバスと電車を含めた数字なのか。

事務局 詳細なアンケート票が手元にないが、バスと電車を含めたものである。

委員 資料1の26ページに将来都市像の図がある。平成21年3月策定の秋田市総合交通戦略の36ページにある図を見ると秋田駅を中心として幹線バスが走り、北側の総合病院が乗り継ぎ拠点になっているが、2次のビジョンについては駅から総合病院に向けて幹線バスが位置付けられていない。新駅設置を想定して、総合病院への幹線が無くなっていると思われるが、今後5年の見通しはどうなっているか。

事務局 秋田市総合都市計画の目標になっているコンパクトシティの都市像に沿って検討したもので、イメージであり、必ずしも総合病院までの幹線バスを無くすということではない。現在のバス路線は全て秋田駅に向けて運行しているが、効率を考えると今後は乗継拠点を設定し、幹線と支線を分けていく必要があると考えている。今後、バス事業者と協議をしながら検討していきたい。

委員 秋田市の都市計画としてコンパクトシティに向けて考える必要がある。前回の交通戦略にも、今回の交通戦略にも書いている多頻度少系統型については、横浜や京都などの大都市では分散型にしているケースもある。また、パークアンドライドなどの施策については、これまでに検討はされているか、また今後検討していくのか。

事務局 拠点間のネットワークの形成、公共交通の利便性向上といった方針で、利用しやすい移動手段として検討してきたいと考えている。

委員 現行計画の検証について、次期計画検討の中でもう一度議論するのか。

時代背景として高齢化が進み交通弱者が増え、またICTが進展するなどをどう反映させていくのか。

資料1の28ページ、第2次ビジョンの目標②「利便性向上」の中で、自宅のパソコンで情報が得られる時代になったことを踏まえて、ICTの活用を検討して欲しい。また、ほかの都市に行き初めて秋田市に交通系ICカードがない不便さを感じる。個々の事業者まかせだと中々進まないで、交通系ICカードの実現を目指して欲しい。

事務局 現計画の施策の評価は、次回の協議会までに取りまとめたい。

その中でICT技術の活用については、ICカードの検討を進めてきたが、初期投資の問題などで実現ができていないというのが実情である。全国で交通系ICカードが使えない6県に秋田市が含まれるということ踏まえて、今後検討を進めて行きたい。

委員 現計画の策定に関わったが、秋田市の交通体系を中心部・郊外部とし、郊外部で病院やスーパー等に人を集めて拠点をつくり、これを秋田駅と結ぶという観点で進め、それなりの形づくりができたと考えている。第2次ビジョンはどのように進めて行くのか教えてほしい。

協議会設置要綱の中で分科会を設置することが定められている一方で、マイタウンバスの各地区には運行協議会が設置されているが、どのような立ち位置であるか明記されていない。この協議会との関連について教えていただきたい。

事務局 拠点と秋田駅を結ぶという観点は変わっていない。ただし、全ての路線が秋田駅を終点に走っているのは利便性が高いとは思いますが効率性は悪い部分がある。どう効率的に運用が図っていいのか、コンパクトシティやネットワークで結ぶ観点のなかで、検討していきたい。

5路線あるマイタウンバス運行協議会の位置付けについては、運行事業者、地域代表者、利用者がより良い路線にしていくという目的のもと年1～2回協議しているが、協議会設置要綱には明確にうたっていない。路線変更等については運行協議会で意見をまとめてこの協議会で議論をしていただくという形をとっている。なお現在、分科会については開催していない。

委 員	<p>これまでのビジョンで形が整ったので、質を高め利用促進を図ると いう視点で取りまとめていくと捉えていたが、これに加えて路線の再 編も考えていくという理解でよいか。</p>
事 務 局	<p>ソフト面での利便性向上施策の検討とともに、交通ネットワークと して機能を高める施策を検討していく。</p>
委 員	<p>資料内において「集約型都市構造」と「多角集約型都市構造」が混 在しているため統一を図るべきではないか。他にも文言の整合性につ いて、簡素であった方が良いため確認してほしい。</p> <p>秋田市は、ほかの地域に比べて雪は多くはないが、市民意識調査に おいて除雪の要望が多い。まずは除雪、そして全てを排雪できるわけ ではないが、除排雪という意識を持って市民啓蒙をしてほしい。</p> <p>公共交通の料金の支払いについて、秋田市がどこまで影響力を持っ ているのか。秋田市が料金を支払う環境は大変だと思う。ＩＣカード の導入は初動が大変ということもわかるが、早く全国共通のものにな ると良いと考えている。</p> <p>資料１の２３ページ、「道路ストックの予防保全的な」について、意 味を教えてください。</p>
事 務 局	<p>文言の一貫性については精査が必要と考えており、進捗にあわせて 整合性を図る。</p> <p>除雪と排雪をセットとは考えていたが、雪が降ったらすべて排雪と いうのは費用的な問題で難しい。</p> <p>公共交通利用者の料金支払い方法については、Suicaを使ってバスに 乗れるというのは理想形であるが、イニシャルコストが莫大であるた め、どうやってクリアしていった市民の期待にこたえるか、皆さんの お知恵を借りながら考えていきたい。</p> <p>高齢者の６８歳以上を対象としたワンコインバスのシステムは非常 に喜んでいただいております、これまでバスを利用しなかった方にも利用 されている。ＩＣカード導入とワンコインバスの充実も考えたい。</p> <p>「道路ストック」については、市道として秋田市から熊本に行ける ほどの延長距離を管理する中で、一度つくればおしまいでなく、メ ンテナンスも重要となっているため維持修繕をしていくという位置付 けの事である。</p>
委 員	<p>現計画と今回の２次計画の関係について、２次計画は現計画のアク シヨンプランなのか、あるいは大枠の方針のまとめなのか、教えてほ しい。</p>

事務局	<p>現計画についても、市民の足の確保や利便性の確保などについて、どういった施策を講じていくか、年次計画を示してやってきているが、出来ているもの、出来ていないものがあるので精査しながら2次計画に活かしていく。</p> <p>前回計画は「公共交通総合連携計画」であり各主体がどう連携して作り上げるかという視点で検討し、法律に位置付けられた計画であった。今回法改正の中で「公共交通網形成計画」ということでまちづくりの視点を柱にししながら、現計画で出来なかったものを盛り込んでいきたい。</p>
委員	<p>資料1の12ページの「秋田市の人口の推移」について、65歳以上の世帯数など国勢調査に準じて平成22年まで表記しているが、5年前の数字というのも古いので、推計値なども含めて最新のものを活用してほしい。</p>
事務局	<p>数字を更新する。</p>
会長	<p>資料1の7ページの秋田市総合交通戦略の達成状況の評価について、目標Ⅱの公共交通については次回までにまとめて評価を示すということではどうか。アウトカム指標も含まれているか。</p>
事務局	<p>次回の協議会で評価を示す。アウトカム指標も含まれている。</p>
会長	<p>基本方針と目標について、例えば前回の戦略の中で基本方針に当たるものは何ページか。</p>
事務局	<p>前回のビジョンの26ページから27ページにあたる。順番は若干前後しているが、戦略でいうと47ページにあたる。</p>
会長	<p>今回の計画ではまちづくりがキーワードである。前回の計画でもまちづくりについて捉えていたと考えてよいか。</p>
事務局	<p>第6次秋田市総合都市計画での位置付けがあり、第5次でも模式図も示すなどあり、大きく変わっていない。これまでもあった考え方であり、今後もよりまちづくりとの連携を深めていきたいと考えている。</p>
会長	<p>議事1については、このように進めて良いか。</p>
委員一同	<p>承認する。</p>

会	長	議事 2 「秋田市マイタウン・バス西部線（下浜線）の延伸について【資料 2 ～ 5】」を、事務局から説明願う。		
事	務	局	(資料に沿って説明)	
委	員	事務局	陽光台の集落は人口が何人くらいいるのか。	
事	務	局	手元に資料が無いため不明。	
会	長	議事 2 については、承認して良いか。		
委	員	一	同	異議なし。
司	会	事務局	4 報告 「秋田市マイタウン・バス西部線（豊岩線）の路線変更について【資料 6 ・ 7】」を、事務局から説明願う。	
事	務	局	(資料に沿って説明)	
司	会	事務局	5 その他 その他、事務局から何かあるか。	
事	務	局	特になし。	
司	会	事務局	以上で本日の協議会を終了する。	